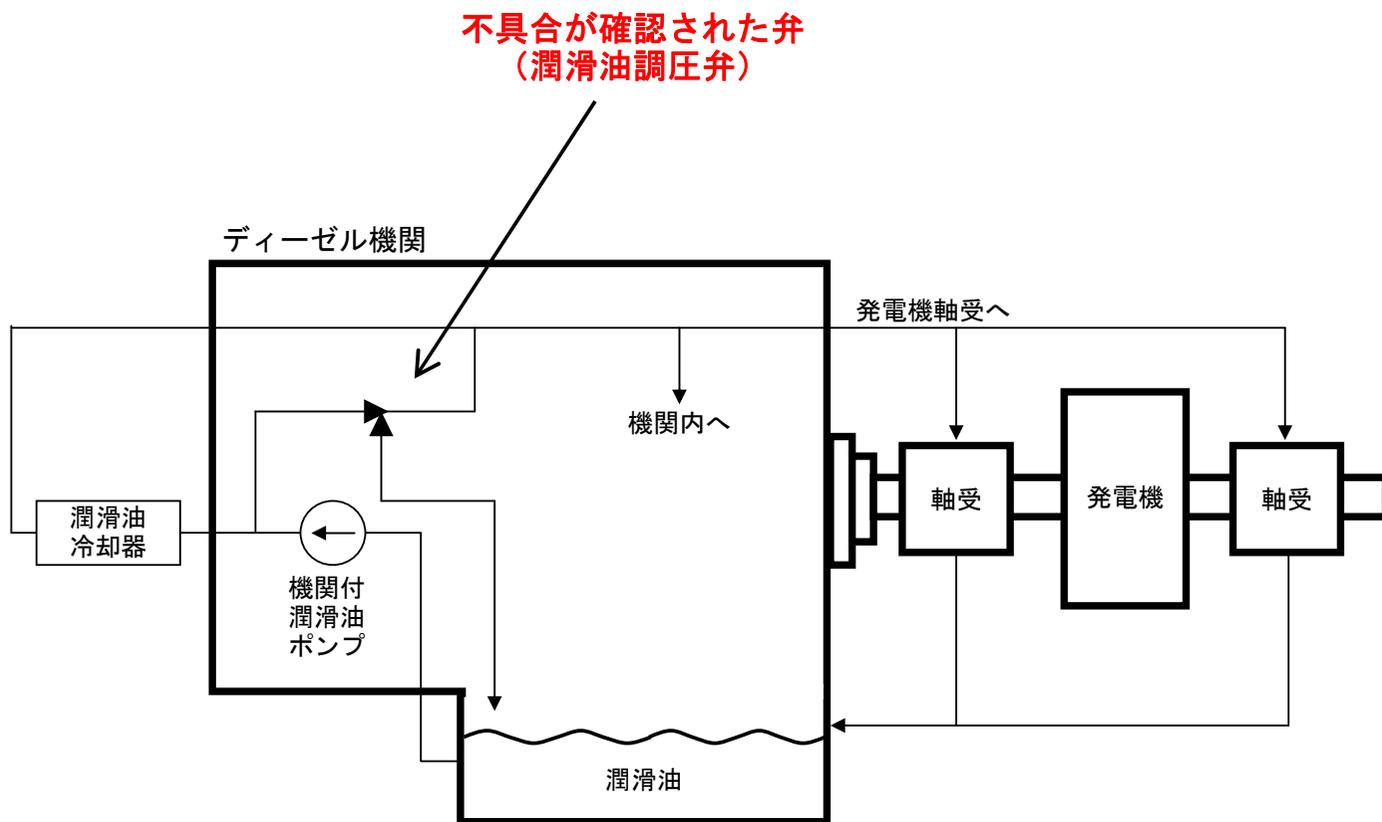


平成 23 年 11 月 7 日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

区分：Ⅲ

号機	7号機	
件名	定期検査中における非常用ディーゼル発電機の弁の不具合について	
不適合の概要	<p>(事象の発生状況) 定期検査中の7号機において、非常用ディーゼル発電機*¹ (B) の潤滑油調圧弁*² の分解点検の一環として、当該弁の弁箱内側について浸透探傷試験を実施したところ、平成23年11月4日に複数の微細な孔のような指示模様を確認しました。</p> <p>(安全性、外部への影響) 今回の不具合については、非常用ディーゼル発電機の機能に影響を与えるものではなく、当該の非常用ディーゼル発電機は直近に実施した定例の運転確認試験においても機能が正常であることを確認しております。また、今回の点検の実施にあたっては、他の2台の非常用ディーゼル発電機について機能に問題がないことを確認しており、プラントの安全上の問題はありません。</p> <p>本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>* 1 非常用ディーゼル発電機 所内電源喪失時に所内へ電源を供給するためのディーゼルエンジン駆動の非常用発電機。ディーゼル発電機は3台設置されている。</p> <p>* 2 潤滑油調圧弁 ディーゼル機関各部へ送る潤滑油の供給圧力を一定に保つための圧力調節弁。</p>	
安全上の重要度／損傷の程度	<p><安全上の重要度> 安全上重要な機器等 / その他設備</p>	<p><損傷の程度> <input type="checkbox"/> 法令報告要 <input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要 <input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
対応状況	今後、当該弁について詳細な状況確認や原因調査を行うとともに、当該弁の補修作業を実施いたします。	



※微細な孔のような指示模様:3箇所
うち2箇所が貫通
孔の直径は約0.01mm以下

ふたを外した状態

非常用ディーゼル発電機 潤滑油系 概略図